

《教育関係について》

◎ 教育委員会事業

(1) 定例会・臨時会開催日数

総務課

事業概要	定例会は原則、毎月第2火曜日に開催することと規則で定めており、付議事件を告示して招集し、教育委員会の権限に属する全てを審議する。 臨時会は、随時付議事件を告示して招集し、告示された事件について審議する（急施を要するものを除く）。													
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
傍聴人数	定例会	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	臨時会				0人							0人	0人	0人
臨時会の回数		0回	0回	0回	1回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	1回	2回	4回

(2) 付議事件関係

総務課

区分	教 育 長 提 出					年 間 延 べ 件 数
	条 例 改 正 案 等	規 則 ・ 令 等	予 算 案	人 事	そ の 他	
定 例 会	0人	1人	7人	6人	6人	20件
臨 時 会	0人	2人	1人	2人	1人	6人
合 計	0人	3人	8人	8件	7件	26件

※ 「その他」には、教育委員会の方針決定等を含む。

(3) 付議事件の結果関係

総務課

区分	教 育 長 提 出				年 間 延 べ 件 数
	原 案 可 決	修 正 可 決	否 決	そ の 他	
定 例 会	20件	0人	0人	0人	20件
臨 時 会	6人	0人	0人	0人	6人
合 計	26件	0人	0人	0人	26件

※ 「原案可決」には、承認・認定・同意を含む。

(4) 教育委員会視察活動

総務課

事業目的	視察回数	視察会場	視察目的	事業成果
教育委員会定例会議を市内小中学校や社会教育施設で開催し、現場の視察や施設長から運営状況等を聞くことで、現状把握のための情報収集等を行うことができる。	1回	吉田小学校 (3月23日)	GIGAスクール対応教育用端末の運用及びトイレ改修後の状況について	机上の報告書だけではなく、教育活動現場を視察し、生の声を聞くことで、教育施設を取り巻く環境やさまざまな活動を確認し、活発な意見交換を行うことができた。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、視察を自粛したことによる回数の減。

(5) 定例会協議事項

総務課

事業目的	協議事項議題	定例会開催日
隔月で、教育に係る諸課題・諸問題等について、調査・研究を行い、テーマを定めて協議を行うとともに、先進地事例から学ぶことで教育の質の更なる向上を図る。	新型コロナウイルス感染症対策に係る教育委員会の取組について	令和2年4月14日
	新型コロナウイルス感染症対策に係る教育委員会の取組について	令和2年5月19日
	新型コロナウイルス感染症対策に係る教育委員会の対応状況について	令和2年6月16日
	新型コロナウイルス感染症対策に係る教育委員会の対応状況について	令和2年7月14日
	新型コロナウイルス感染症対策に係る教育委員会の対応状況について	令和2年8月18日
	新型コロナウイルス感染症対策に係る教育委員会の対応状況について	令和2年9月15日
	先進地事例から学ぶ ～八潮市の小中一貫教育について～	令和2年10月13日
	教職員の不祥事防止と資質の向上について	令和3年1月19日
	GIGAスクール対応教育用端末の運用及びトイレ改修後の状況について	令和3年3月23日

◎ 総合教育会議

総務課

事業概要	総合教育会議は、市長と教育委員会とが相互の連携を図り、重点的な施策等についての協議を行う。		
開催月、協議・調整事項及び傍聴人数	開催月	協議・調整事項	傍聴人数
	11月	幸手市の教育上の諸課題	0人

◎ 児童生徒健全育成事業

指導課（学校教育課）

事業目的	事業概要	事業成果
いじめ、不登校、非行、問題行動等の生徒指導の諸課題を協議し、健全育成に資する。	<ul style="list-style-type: none"> 幸手市教育相談連絡会 学校ごとに年3回以上の実施参加者 校長、教頭、生徒指導主任、教育相談主任、指導主事、スクールソーシャルワーカー等 	生徒指導上の諸課題について認識を深めるとともに、児童生徒の健全育成に寄与した。

◎ 幸手市いじめ問題対策連絡協議会

指導課（学校教育課）

事業目的	事業概要	事業成果
いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号）第14条第1項の規定に基づき、幸手市いじめ問題対策連絡協議会を置く。	<ul style="list-style-type: none"> 11月1日（日）～15日（日）幸手市いじめ防止強化期間 幸手市いじめ問題対策連絡協議会を2回実施。 「学校生活アンケート」の結果について (事業費 68,000円) 	幸手市いじめ防止強化期間を市民に周知するため、横断幕を掲示した。 市内小中学校の全児童生徒にいじめ防止のための標語を作成してもらい、最優秀賞、優秀賞を決め、表彰した。

◎ 学習生活支援員配置事業

指導課（学校教育課）

事業目的	事業概要	事業成果
コロナ禍における臨時休業の影響による児童生徒の学習の遅れ解消に資するため、学習活動の支援や担任業務の補助をするとともに、教育活動の一層の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 学習生活支援員の配置 小学校 9校 29人 中学校 3校 5人 (事業費 12,329,729円) 	児童生徒への、個別の習熟度支援を行うなど、学びのサポートをすることができた。また、担任業務の補助を行うことで、担任教員の負担を軽減することができた。

◎ 教育支援員等の配置

指導課（学校教育課）

事業名	事業目的	配置場所数	事業成果
教育支援員配置事業	障害のある児童生徒及び学習に課題のある児童生徒の在籍する学級を有する学校において、児童生徒の生命の安全を確保するとともに、生活指導、学習指導の充実を図る。	小学校 9校 18人 中学校 3校 9人 (事業費44,330,282円)	各学校における生活指導及び学習指導の充実を図ることができた。また、特別支援学級への配置により、個に応じた合理的配慮を充実させることができた。
さわやか相談員配置事業	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じるとともに、学校、家庭及び地域社会と連携し、健全な児童生徒の育成を図る。	中学校 3校 3人 (事業費 5,585,302円)	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じ、さらに学校、家庭及び地域社会と連携し、健全な児童生徒の育成が図れた。
教育相談員・心すこやか支援員配置事業	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じるとともに、不登校児童生徒が学校復帰を目指すための学習・生活面の支援を行い、教育相談体制の充実を図る。	心すこやか支援室 (旧シルバー人材センター内) 教育相談員 1人 心すこやか支援員 4人 (事業費 5,712,062円)	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じ、不登校児童生徒が学校復帰を目指すための適応指導を 실시し、教育相談体制の充実が図れた。
日本語指導員配置事業	市内小・中学校の児童生徒のうち、外国語を母語とする児童生徒の学習指導等に対応するため、日本語指導員を配置し学力の向上を図る。	市内小・中学校 3人 (事業費 977,760円)	外国語を母語とする児童生徒の学習指導・生活指導等に担任や教科担任と連携して「個に応じた支援」を行い、学習の充実が図れた。
ふれあい相談員配置事業	市内小・中学校におけるいじめや不登校の児童生徒及び保護者との相談に応じるとともに、学校、家庭、地域との連携を図るため、ふれあい相談員を配置し、健全な児童生徒の育成を図る。	市内中学校区 3人 (事業費 1,839,806円)	幸手市さわやか相談員と連携し、児童生徒との相談・援助を行うことで、不登校傾向のある児童生徒の心の安定や学習の充実が図れた。

◎ 道徳教育推進事業

指導課（学校教育課）

事業目的	事業概要	事業成果
<p>児童生徒の豊かな心をはぐくむため、道徳教育に係る外部講師を招き、教員の指導力向上を図るとともに、幸手市郷土資料「道徳のまち さって」「道徳のまち さって ハンドブック」を活用し、道徳教育の推進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育推進協議会議を2回開催 ・ありがとう作文コンクールを小・中学校で実施 <p>（事業費 54,000円）</p>	<p>道徳教育の成果を一層高めるため、「幸手市道徳教育推進協議会議」を設置し、学校、家庭、地域が連携し、取組を展開した。</p> <p>ありがとう作文の作成において、児童生徒は身近な人や、体験したことをもとに感謝の気持ちを文面に込めた。各校から素晴らしい作品が集まり、最優秀賞、優秀賞を選出し、表彰した。市役所、駅通路、公民館にて作品展示した。</p>

◎ 外国青年招致事業

指導課（学校教育課）

事業目的	事業概要	事業成果
<p>市内中学校の英語指導及び小中学校の外国語活動の充実を図るため、語学指導助手（ALT）として外国青年を招致する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致 アメリカ合衆国 3人 イギリス 1人 ・市内中学校の英語指導 ・国際理解教育の推進 ・市内小学校の外国語活動の指導 <p>（事業費 32,913,850円）</p>	<p>児童生徒が英語の授業に対して主体的に、楽しく取り組み、コミュニケーション活動が更に充実し、英語学習への動機づけを図ることができた。小学校における外国語活動の充実を図ることができた。</p>

◎ さってアフタースクール事業

指導課（学校教育課）

事業目的	事業概要	事業成果
<p>児童の学力向上、学習の習慣化のため、放課後の教室を利用して、地域の教員OBなどが国語・算数を中心に、授業の復習や宿題の支援等、児童へ学習支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者 市内9校の小学校3～6年生 ・開催回数 418回 ・参加人数 307名 ・講師 32名 <p>（事業費 9,757,915円）</p>	<p>アフタースクールを実施することで、学習習慣の定着を図る一助になった。また、コロナ禍における学びの保障の一助ともなり、多くの児童に学ぶ楽しさを伝えることができた。</p>

◎ 体力向上推進事業

指導課（学校教育課）

事業目的	事業概要	事業成果
<p>市内小中学校に体力向上に関する研究を委嘱したり、ロードレース大会を開催するなど、児童・生徒の体力の向上を推進する。</p>	<p>研究委嘱関係 幸手中学校・さくら小学校 吉田小学校</p> <p>委員会関係 体力向上推進委員会 3回</p> <p>大会関係 小学校ロードレース大会 ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>（事業費 30,162円）</p>	<p>コロナ禍における体育授業や体育的活動の行い方について、委嘱校の実践事例をもとに、市内で共有することができた。また、新体力テストの分析をとおして、体力の現状を把握し、次年度の課題を明確にすることができた。</p>

◎ 学校給食調理業務委託事業

総務課

事業目的	委託校	事業概要	事業成果
学校給食調理業務を効果的・効率的に運営し、安心・安全な給食を提供する。	全小・中学校 (小学校 9 校) (中学校 3 校)	学校給食(自校調理方式)における調理業務を民間業者に委託する。 (事業費213,671,700円)	民間委託を推進することで、効果的・効率的に給食調理業務を運営することができた。

◎ 学校給食関係事業

総務課

事業目的	学校給食の安全向上のため、学校栄養士及び食品の細菌検査等を実施する。		
検査名等	対象	事業概要	事業成果
検便検査	学校栄養士等 13人	サルモネラ菌・病原性大腸菌 O-157検査(月2回) (事業費85,800円)	検査、講習会を通して、学校給食食材の安全及び衛生管理の徹底を図れた。
給食食品検査	給食食材 30検体	給食食材の検査(サルモネラ菌・病原性大腸菌O-157検査) (事業費135,300円)	

◎ 小中学校プール水水質検査

総務課

事業目的	事業概要	事業成果
学校プールは、一時に多くの児童生徒等が利用することから、水を介した感染症を予防するための衛生的な管理を行う。	プール期間中に、プール水の水質(トリハロメタン等)を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止によるプール授業中止に伴い、実施していない。

◎ 保健・健康事業

総務課

事業目的	学校保健安全法に基づき、児童、生徒及び教職員の健康管理のため、各種検診を実施する。		
検診名	検診対象者	事業概要	事業成果
心臓検診	小学校 1・4年生 中学校 1年生	心電図、医師の問診等による 検診 (事業費 2,393,600円)	受診者数 1,088人 受診率 98.6%
尿検査	小・中学校 全児童・生徒	検尿による尿糖、タンパク 等の検査 (事業費 721,600円)	受診者数 3,280人 受診率 99.1%
小児生活習慣病 予防健診	小学校 4年生	採血、血圧、医師の問診等 による検査 (事業費 1,275,120円)	受診者数 414人 受診率 98.6%
脊柱側彎症 ^{わん} 検診	中学校 1年生	モアレトポグラフィー法に よる検査 (事業費 234,960円)	受診者数 356人 受診率 98.1%
結核検診	児童・生徒 (要精密検査 受診者) 教職員	児童・生徒 胸部X線撮影 による精密検査 教職員 胸部X線撮影 (事業費 234,960円)	児童・生徒 7人 教職員 117人
健康診断 胃がん検診 大腸がん検診	教職員	健康診断・胃部X線撮影・ 便潜血反応検査 (事業費 1,322,349円)	健診受診者数 121人 胃がん受診者数 24人 大腸がん受診者数 31人

◎ 学校給食費補助金（指定補助）

総務課

事業目的	多子世帯の学校給食費を援助することで保護者の経済的負担を軽減し子育て支援の推進を図る。					
区分	第2子	金額	第3子 以降	金額	合計	金額
市内小学生	659人	13,635,913円	92人	3,848,570円	751人	17,484,483円
市内中学生	65人	1,526,987円	0人	0円	65人	1,526,987円
特別支援学校 (小・中学生)	3人	58,425円	0人	0円	3人	58,425円
合計	727人	15,221,325円	92人	3,848,570円	819人	19,069,895円
事業成果	保護者の経済的負担を軽減し子育て支援の推進が図れた。					

◎ 臨時休校時給食食材費用補償事業

総務課

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

事業目的	事業費	事業成果
臨時休校により発生した学校給食食材キャンセル等にかかる費用を負担する。	小学校 9校 889,409円 中学校 3校 415,142円	臨時休校により発生した学校給食食材キャンセル等にかかる費用を保護者に請求せずに対応することができた。

◎ 感染症対策のためのマスク等購入支援事業

総務課

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

事業目的	事業費	事業成果
各学校が段階的な学校再開に際して、感染症対策を徹底しながら児童・生徒の学習補償をするための新たな試みを実施するに当たり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の再開を支援する経費を補助する。	消耗品 ・消毒用アルコール 230,560円 ・非接触型体温計用電池 3,718円 ・大人用不織布マスク 287,980円 ・子ども用不織布マスク 544,500円 庁用器具費 ・非接触型体温計 242,000円	学校再開にあたり、児童・生徒及び教職員の感染症対策等に必要な物品を購入し、安心・安全な環境整備をすることで、集団感染のリスクを避け安心して学ぶことができた。

◎ 就学援助及び特別支援教育就学奨励事業

総務課 (学校教育課)

(1) 就学援助事業

事業目的	認定数	支給者及び援助額	事業成果
経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、義務教育の円滑な実施を図るために必要な援助を行う。	児童生徒 624人 就学予定児童 42人	学用品費等 666人 17,274,775円 学校給食費 622人 27,348,794円	保護者の義務教育に係る費用の経済的な負担を軽減することにより、対象児童生徒に円滑な義務教育が実施できた。

(2) 特別支援教育就学奨励事業

事業目的	認定数	援助額	事業成果
特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者に対して経済的負担を軽減するために、特別支援学級への就学のための必要な経費の一部を援助する。	53人	1,769,082円	特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励が図れた。

◎ 入学準備金貸付事業

総務課（学校教育課）

事業目的	貸付者数及び貸付金額	事業成果
高等学校、大学及び専修学校への入学を希望する者の保護者で、入学準備金の調達が困難な者に対して、教育を受ける機会を与えることを目的として、貸付事業を行う。	大学 4人 高等学校 1人 2,200,000円	保護者の経済的な負担を軽減すると共に、高等学校、大学に入学を希望する者に対し、教育を受ける機会を与えることができた。

◎ 小中学校トイレ大規模改修事業

総務課

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業）

事業目的	学校トイレの洋式化を行うとともに、室内の衛生面、環境面の向上を図る。
事業概要	校舎内トイレ及び屋外トイレの洋式化を含めた全面改修工事を行う。
事業費	幸手小学校 工事請負費 14,473,800円 上高野小学校 工事請負費 19,948,500円 行幸小学校 工事請負費 16,008,300円 権現堂川小学校 工事請負費 72,644,000円 監理委託料 3,080,000円 吉田小学校 工事請負費 111,386,000円 監理委託料 3,905,000円 （以上、令和元年度からの繰越（繰越明許費）） 幸手中学校 工事請負費 28,600,000円
事業成果	学校トイレの洋式化を行い、室内の衛生面、環境面の向上が図れた。

◎ コンピューター教育推進事業

総務課

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業）

事業目的	Society(ソサエティ)5.0(※)という新たな時代を担う人材の教育や、特別な支援を必要とするなどの多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、一人一人に応じた個別最適化学習にふさわしい環境を整備する。
事業概要	全児童・生徒に1人1台のタブレット端末を整備する。また、全小・中学校に高速大容量通信ネットワークに対応した校内LANを整備するとともに、タブレット端末を充電・保管する電源キャビネットを整備する。 さらに、思考力、判断力、表現力などのプログラミング的思考を育むため、プログラミング教育ソフトを整備する。
事業費	G I G Aスクール対応教育用端末購入 備品購入費 193,490,000円 学校情報通信ネットワーク環境施設工事 工事請負費 111,196,800円 ※令和元年度からの繰越（繰越明許費） プログラミング教育ソフト賃貸借 賃貸借料 9,355,500円
事業成果	次代に即応した教育ICT環境の充実が図れた。

※ 狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く5番目の社会。

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。

◎ 学校からの遠隔学習機能強化事業

総務課

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

事業目的	事業費	事業成果
臨時休校中の学びを保障するため、オンライン学習等で使用するWebカメラを購入する。	購入台数 53台 購入費用 155,782円	Webカメラを購入したことで、臨時休校時においても継続した学習を行うことができた。また、各種行事をオンライン配信することで、感染症対策を行うことができた。

◎ 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業

総務課

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

事業目的	事業費	事業成果
各学校が段階的な学校再開に際して、感染症対策等を徹底しながら児童・生徒の学習保障をするための新たな試みを実施するに当たり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の再開を支援する経費を補助する。	○学校名 ○執行額 幸手小学校 2,032,287円 権現堂川小学校 2,012,160円 上高野小学校 3,124,446円 吉田小学校 2,025,419円 八代小学校 2,017,811円 行幸小学校 3,005,933円 長倉小学校 4,045,287円 さかえ小学校 2,009,406円 さくら小学校 3,028,639円 幸手中学校 3,073,056円 東中学校 2,081,197円 西中学校 4,122,426円 (合計 32,578,067円)	3密を回避し、児童・生徒及び教職員の感染症対策等に必要な物品を購入するとともに、感染の状況に応じた教育活動や家庭学習に必要な経費を支援することで、安心・安全な環境を整備し、児童・生徒の学習保障を図れた。

◎ 吉田幼稚園学級・園児数 (令和2年5月1日現在)

指導課 (学校教育課)

学 級 数				園 児 数			
年 少	年 中	年 長	合 計	年 少	年 中	年 長	合 計
	1学級	1学級	2学級		11人	18人	29人

◎ 私立幼稚園関係補助事業 (指定補助)

こども支援課

補助金名	事業概要	補助内容	事業成果
私立幼稚園振興補助金	市内の私立幼稚園の振興を期するためにその設置者に対して、予算の範囲内で補助する。	5園 2,700,000円	運営に必要な経費を補助し、施設の充実に寄与した。

◎ 人材バンク（さって市民生きがい教授）設置事業

社会教育課

事業目的	生涯学習の機会を広げるために、様々な分野の指導者の登録を行い、誰もが活用できるよう情報提供を行う。
登録者数	62人
事業成果	指導者に関する詳しい情報をホームページで公開することで学習機会を求める市民がいつでも情報を入手することができた。

◎ 家庭教育学級開設事業

社会教育課

事業目的	保護者が自信をもって子育てをするために、相互の交流親睦を深め、仲間づくりを行いながら様々な学習に取り組む場を設ける。					
期間	令和2年4月～令和3年2月					
運営	各学級が自主的に実施					
方法	委託事業 5団体 合計 89,921円 1団体の委託料は27,000円を上限とする。					
説明会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。					
事業内容	No.	学級開設団体名	対象	回数	延べ参加者数	学習領域
	1	権現堂川小学校 P T A	会員	2回	18人	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活習慣に関すること ・子育てに関すること ・教育に関すること ・社会環境に関すること
	2	上高野小学校 P T A	会員	2回	45人	
	3	行幸小学校 P T A	会員	1回	10人	
	4	吉田幼稚園 P T A	会員	2回	31人	
	5	第二幸手幼稚園 母の会	会員	1回	5人	
	合 計					109人
事業成果	保護者が各学級に参加することで、子育てや教育に関する知識を習得しながら、相互に交流を図り、仲間づくりを進めることができた。					

◎ 社会教育関係団体の概要と補助金（一般補助）

社会教育課

事業目的	青少年育成や文化活動など社会教育に関する活動を行う団体の活動を支援するために補助金を交付する。			
交付実績	団体名・会長名	主な活動	会員数等	交付額
	幸手市子ども会 育成連絡協議会 会長 吉良 英敏	さって郷土かるた大会 彩の国21世紀郷土かるた 大会（※）	3単位子ども 会（権現堂川 地区） 244人	0円
	幸手市連合婦人会 会長 森泉 美江子	中央学級 各種大会協力（※） ボランティア活動（※）	3地区婦人会 （行幸・上高 野・幸手）	184,033円
	幸手市文化団体連合会 会長 中村 孝子	文連作品展 広報誌での作品発表 文連だより発行 文連発表会（※）	43団体・6連合 916人 指導部 26人	452,000円
	幸手市PTA連合会 会長 山本 太輔	PTA連合会だより発行 交通安全ポスターコン クール	12単位PTA 小学校 9校 中学校 3校	0円
	幸手市人権教育推進協議会 会長 山西 実	人権教育研修会	理事制	706,000円
	幸手市郷土芸能保存会 会長 吉田 清	後継者育成 伝承技術の向上 郷土芸能大会（※）	2団体（松石 ・高須賀）	75,000円
	ボーイスカウト幸手団 連絡協議会 代表 中村 行生	クリスマス会 ハイキング 夏季キャンプ（※）	24人	0円
	幸手市青少年相談員協議会 代表相談員 長野 廣彬	勾玉づくり バスツアー（※） 清水公園事業（※） デイキャンプ（※）	16人	0円
	幸手市公民館クラブ 連絡協議会 会長 富野 武彦	クラブ交流グラウンドゴ ルフ大会（※） リーダー研修会（※）	53クラブ 700人	0円
事業成果	関係団体に補助金を交付することで、事業運営を支援することができ、社会教育活動の推進が図れた。			

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 社会教育委員

社会教育課

事業目的	社会教育に関する計画の立案及び施策の推進に必要な調査研究を行うために設置する。	
事業内容	期日・会場	内 容
	5月15日（金） 八潮市民文化会館	埼玉葛郡市社会教育振興会総会・研修会 書面審議 （1）元年度事業報告・2年度事業計画等について （2）研修会（講演会）（※）
	5月26日（火） 国立女性教育会館	埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会総会・研修会 （1）元年度事業報告・2年度事業計画等について 書面開催 （2）研修会（※）
	9月30日（水） 市役所第2会議室	幸手市社会教育委員会議 （1）令和元年度事業報告について （2）令和2年度事業計画について （3）その他
	10月28日（水） 市役所第2会議室	幸手市社会教育委員会議 （1）今年度のテーマについて
	11月20日（金） 市役所第2会議室	幸手市社会教育委員会議 （1）今年度のテーマの調査・研究について
	12月18日（金） 市役所第2会議室	幸手市社会教育委員会議 （1）今年度のテーマの調査・研究の進め方について （2）東部地区社会教育関係委員・職員研修会の参加 （3）その他
	1月20日（水） 加須市大利根文化・ 学習センター	東部地区社会教育関係委員・職員研修会（※） （1）講演会「学校と地域をつなぐー社会総がかりで子どもを育むためにー」 （2）実践発表「加須市・越谷市」
	1月22日（金） 市役所第2会議室	幸手市社会教育委員会議（※） （1）今年度のテーマの調査・研究の進め方について
	2月18日（木） 市役所第2会議室	幸手市社会教育委員会議（※） （1）今年度のテーマの調査・研究の進め方について （2）その他
	3月26日（金） 市役所第2会議室	幸手市社会教育委員会議 （1）今年度の調査研究のまとめ冊子の校正 （2）来年度の予定
事業成果	社会教育に関する現状と課題について、調査研究を行うとともに、問題の解決に向けた今後の方向性を示すことができた。	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ すこやか子育て講座開催事業

社会教育課

事業目的	核家族化やコミュニティ意識の希薄化による家庭教育力の低下を改善するため、小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育に関する講話や意見交換など、子育てについて学べる機会を設ける。				
謝金	7,000円×6校(※)=42,000円				
対象	令和3年度新1年生の保護者				
事業内容	学校名	開催日	テーマ	講師名	参加者数
	幸手小	10月6日(火)	入学前の家庭生活について 子供の自立に向けて	島田 雪子	46人
	さくら小	10月7日(水)	入学前の家庭生活について	松本 浩子	69人
	権現堂川小	10月8日(木)	小学校入学までに子ども達に 身につけて欲しいこと～子ども の自立に向けて～	島田 雪子	11人
	吉田小	10月8日(木)	入学前の身に付けたい力	関 千代子	9人
	八代小	10月8日(木)	入学前の家庭生活について	望月 光子	12人
	上高野小	10月22日(木)	入学前の子育て	島田 雪子	45人
	合計				192人
事業成果	小学校入学前の子どもの状態や保護者の心構えなどを学ぶことにより、子育てに必要な知識等を習得することができた。講座と併せて実施した保育ボランティアの派遣により、保護者が講座に集中して参加するための環境整備も整えることができた。				

※ 市内小学校のうち3校は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 子どもセンター事業

社会教育課

事業目的	青少年の体験活動を推進するため、サーチ隊（子ども編集員）による取材を基にした情報紙の発行、長期休暇中のバスツアーや体験講座の企画・運営を行う。																		
事業内容	<p>◎年間テーマ 『オリンピック・パラリンピック・世界の文化』</p> <p>(1) 情報紙の発行（年3回） ※サーチ隊の取材・記事作成の指導を含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称 「わく²幸手っ子プチ」 ・発行内容 <ul style="list-style-type: none"> ①夏号（※） （7月発行） ②No.40冬号 : サーチ隊がゆく！図書館 （12月発行） 世界の文化について つくってみてみて「タイのかぼちゃスイーツ」 ③春号（※） （3月発行） ・発行形式 A4版 両面 色紙 1色刷り ・発行部数 各2,800部 ・配布先 市内小学校の全児童、市内公共施設の情報コーナー ・編集集 <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター4人 ・サーチ隊（子ども編集員）11人（公募小・中学生） ・編集会議 <ul style="list-style-type: none"> サーチ隊編集会議 3回 取材・編集等 編集会議 4回 企画・編集・校正等 <p>(2) 壁新聞の発行（年3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称 「さてライト新聞」 ・発行内容 <ul style="list-style-type: none"> ①7月発行（※） ②10月発行 : 夏休みバスツアー報告、乗り物の学習ができる施設情報、冬休み体験教室告知 ③3月発行（※） ・発行形式 A2版 カラー ・発行部数 18部 ・配布先 市内小学校、公民館、図書館、社会教育課 ・編集集 コーディネーター4人 ・協力 サーチ隊（子ども編集員）11人（公募小・中学生） ・編集会議 4回 ※「わく²幸手っ子プチ」と共同実施 <p>(3) 体験活動の企画運営（イベントの開催など）・活動内容</p> <table border="1" data-bbox="379 1518 1501 1794"> <thead> <tr> <th>期</th> <th>日</th> <th>内 容</th> <th>対 象</th> <th>参 加 者 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>子どもわくわくバスツアー（※）</td> <td>小学1年生～6年生</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>冬休み体験教室（※）</td> <td>小学1年生～6年生</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>				期	日	内 容	対 象	参 加 者 数	—	—	子どもわくわくバスツアー（※）	小学1年生～6年生	—	—	—	冬休み体験教室（※）	小学1年生～6年生	—
期	日	内 容	対 象	参 加 者 数															
—	—	子どもわくわくバスツアー（※）	小学1年生～6年生	—															
—	—	冬休み体験教室（※）	小学1年生～6年生	—															
事業成果	令和2年度のテーマは「オリンピック・パラリンピック・世界の文化」。コロナ禍ではあったが、感染症対策を講じた上、図書館にて取材を行うことができた。サーチ隊は活動を通じて社会性や協調性を育みながら体験できた。																		

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 子ども大学さって

社会教育課

事業目的	地域にある大学や団体と連携し、子どもの知的好奇心や探究心を育み、郷土への親しみ、関心を高めるため、「子ども大学さって」を開催する。				
対象	小学3年生～6年生				
事業内容		期日・会場	内容	講師名	参加者数
	第1回	1月23日(土) 郷土資料館 講座	「幸手の海と作物の歴史」 「ことさんと白いさぎ」 「機織り」 「貝のストラップ作り」	幸手市郷土資料館 館長・学芸員とボ ランティアの方	—
	第2回	1月30日(土) 郷土資料館 講座	「張り子づくりPart1」 型を使って張り子づくり	幸手市郷土資料館 館長・学芸員	—
	第3回	2月6日(土) 郷土資料館 講座	「張り子づくりPart2」 張り子の色付け つるし飾りづくり	幸手市郷土資料館 館長・学芸員	—
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。				

◎ 放課後子ども教室開催事業

社会教育課

事業目的	放課後の時間に小学生を対象にして、地域の協力により、スポーツ・文化などさまざまな体験の場を設け、知識・体力の向上を図りながら交流を深める。			
対象	小学生児童（放課後子ども教室実施小学校）			
事業内容	学校名	内容	実施期間	参加者数
	吉田小学校	卓球教室	9月～12月（全9回）	延べ171人
	吉田小学校	和太鼓教室	9月～12月（全5回）	延べ47人
事業成果	吉田小学校において、地域の協力を得ながら、スポーツや文化活動を体験できる場を設定することができ、知識・体力の向上が図られた。			

◎ 青少年健全育成事業

社会教育課

事業目的	次代を担う青少年の健全育成を図るために、「青少年育成推進員」によって相互の連絡調整や健全育成啓発活動などを行う。	
事業内容	期日・会場	内 容
	6月5日（金）	【総会】 書面審議 (1) 令和元年度活動状況報告 (2) 令和2年度活動計画について (3) 学校訪問について (4) 市内非行防止パトロールについて (5) その他
	7月17日（金） 市役所 第2会議室	【第1回会議】 (1) 非行防止啓発活動について (2) 学校訪問について (3) 第3回青少年育成推進員協議会会議及び非行防止パトロールについて (4) その他
	7月17日（金） 幸手駅 杉戸高野台駅	【街頭キャンペーン】（※）
	8月19日（水） 市役所 第2会議室	【第2回会議】 (1) 学校訪問について (2) 非行防止パトロールについて (3) 推進員研修内容の希望について (4) 今後のスケジュールについて (5) その他
	8月19日（水） 市内	【非行防止パトロール】（※）
	12月22日（火） 市役所 第1会議室B	【第3回会議】 (1) 推進研修会「青少年の非行問題」 (2) 学校訪問実施について (3) その他
	12月22日（火） 市内	【非行防止パトロール】（※）
	3月17日（水）	【第4回会議】（※） (1) 学校訪問報告 (2) 情報交換等 (3) 令和3年度の活動について (4) 第3回非行防止パトロール (5) その他

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 青少年健全育成事業のつづき

社会教育課

	期日・会場	内 容
事業内容	3月26日（金） 市 内	【非行防止パトロール】（※）
	そのほかの活動 ・学校訪問（9月～令和3年1月）小学校9校 中学校3校 高校1校	
事業成果	青少年育成推進員による啓発活動や市内パトロールの実施により、青少年健全育成に関する地域環境の向上が図られた。	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 令和3年成人式開催事業

社会教育課

事業目的	新成人の門出を祝福するとともに、成人としての自覚を促しながら、故郷を再認識し、地域に貢献できる人づくりを図るために、式典を開催する。	
主催	幸手市・幸手市教育委員会	
運営	幸手市成人式実行委員会 実行委員（新成人）10人 協力員（社会教育関係者・前年度実行委員）7人	
方法	委託事業	委託料 650,801円
期日・会場	令和3年1月10日（日） 市民文化体育館 さくらホール	
対象	平成12年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人	
参加者数	328人（参加率：74%）	
事業内容	テーマ：「Next Stage～未来へ羽ばたく挑戦者～」 内 容：式 典	
事業成果	旧交を温めつつ、新成人として社会に踏み出す自覚を促す機会を提供することができた。また、新成人を中心とした実行委員会を組織し、自らの手で式典を構成することで、責任感を醸成するとともに、故郷の大切さを再認識してもらうことができた。	

◎ 人権教育推進協議会関係事業

社会教育課

事業目的	幸手市における同和問題をはじめとする様々な人権教育の振興を図り、明るい地域社会の形成に寄与するために人権教育に関する研修会等を実施する。			
事業内容	行事名	期日・会場	参加者数	備考
	人権教育研修会	5月18日(月) 市役所	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
	人権教育研修会 (人権作文発表会)	12月6日(日) 北公民館	79人	市内小・中学生による人権作文の発表。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客で実施。
事業成果	新型コロナウイルス感染対策を徹底して、研修会等を開催することにより、人権啓発並びに指導者の養成及び資質の向上を図ることができた。			

◎ 集会所事業

社会教育課

事業目的	子どもたちを中心に、地域に住む様々な人々の相互理解の促進と、交流を深めるための活動を実施する。			
事業内容	行事名	期日・会場	参加者数	備考
	体力づくり会 親子運動会	上高野小学校	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
	夏のおはなし会	南公民館	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
	子ども料理教室	南公民館	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
	子どもお楽しみ会	12月20日(日) 南公民館	12人	人権啓発のアニメ映画上映とお楽しみゲーム
	子ども料理教室	南公民館	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画していた5回の事業のうち、4回の事業について行うことができなかったが、子どもお楽しみ会は、参加人数を制限して行うことができた。			

◎ 無形文化財保存事業（一般補助）

社会教育課

事業目的	郷土芸能の保存及び伝承のために、保存会の育成を図る。
対象	幸手市郷土芸能保存会 ①松石ささら獅子舞保存会 ②高須賀大杉ばやし保存会
事業内容	後継者育成と伝承技術の向上のため地区ごとに練習を実施し、それぞれの地区ごとに祭礼を行う。併せて、郷土芸能大会を実施する。
補助金額	75,000円
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、祭礼及び郷土芸能大会は中止となったが、技術向上のための練習や小学校での指導等を通して、郷土芸能に触れる機会の創出と後継者育成に寄与することができた。

◎ 文化財保護審議会

社会教育課

事業目的	市の区域内に所在する文化財の調査、保存及び活用に関し、教育委員会の諮問に応じ重要事項を審議し、かつ、これらの事項に関し必要と認める事項を建議するために設置する。	
事業内容	期 日 ・ 会 場	内 容
	10月13日（火） 郷土資料館 講座室	（1）幸手市の区域内に所在する文化財の指定に関する審議について
	12月15日（火） 郷土資料館 講座室	（1）幸手市の区域内に所在する文化財の指定に関する審議について
事業成果	市の文化財保護行政の実績と計画について理解し、委員としての認識が高まるとともに、委員からも文化財保護事業に対する提言や文化財活用にかかわる地域の細かな情報提供があり、文化財保護の重要性を共有することができた。併せて、新たに「上戸の蛇打ち・蛇引き」を市指定文化財に指定することができた。	

◎ 文化遺産保存公開事業

社会教育課

(1) 郷土資料館開館日数及び入館者数

	令和2年度	令和元年度
開館日数	189日	294日
入館者数	1,853人	6,272人

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年5月31日（日）まで、及び令和2年12月28日（月）から令和3年3月22日（月）まで臨時休館。

(2) 展示公開事業

事業目的	幸手の歴史を通覧する常設展示だけでなく、ある特定のテーマに絞った特別展示・企画展示等を実施することで、幸手の歴史と文化の深みや多様性について周知を図る。
事業内容	<p>① 企画展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名称 権現堂堤の歴史 ・ 内容 観光名所として名声を高めた権現堂堤について、意外に知られていない本来の役割である堤防としての歴史に焦点を当て、「権現堂堤修復絵馬」のカットアウト模型や、権現堂堤にかかわる資料のほか、明治時代の河川絵図と明治43年の大水害関係資料を展示した。 ・ 展示期間 6月2日（火）～12月27日（日） <ul style="list-style-type: none"> ・ 名称 御殿飾りと雛道具 ー熊倉良助ゆかりのお雛様ー ・ 内容 幸手出身の実業家である熊倉良助が愛娘のためにあつらえたと伝えられている御殿飾り雛と絢爛豪華な雛道具を中心に展示し紹介した。 ・ 展示期間 3月23日（火）～4月25日（日） <p>② エントランス展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名称 よみがえった吉田中学校の机と椅子 ・ 内容 令和元年度幸手市旧吉田中学校木造校舎再生検討事業において復元製作した生徒用の机と椅子を展示した。机は、唯一残っていた生徒用机を正確に実測し復元した。生徒用椅子は現存していなかったため、近隣自治体における残存事例調査や、卒業アルバム掲載写真をもとに復元設計し製作した。 ・ 展示期間 10月6日（火）～6月27日（日） <ul style="list-style-type: none"> ・ 名称 江戸の粋ー変化朝顔 ・ 内容 市民の御厚意でいただいた、江戸情緒を今に受け継ぐ「変化朝顔」を展示した。 ・ 展示期間 7月中旬～9月中旬
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館により、開館日が例年より少なくなりましたが、来館者には幸手の歴史や文化を感じてもらうことができた。

(3) 教育普及事業

① 古文書学習講座の開催

事業目的	<p>本講座は受講者が、市が収集した市域の古文書をテキストとして学習体験することを通して、まず地域の歴史を学び知ることの楽しさを感じることを第一の目的とする。</p> <p>さらに、ふるさと幸手に対する郷土愛や文化財を大切に思う気持ちを育んだ学習者が、幸手市民であることに誇りを抱き、その結果、幸手の文化的発展あるいは文化財の継承のため、自発的に考え、行動する人づくりを第二の目的とする。</p>			
事業内容	期 日 ・ 会 場	内 容	講 師	参加者数
	12月19日（土） 郷土資料館 講座室	江戸時代の古文書を読む （初級編）	郷土資料館 学芸員	16人
事業成果	古文書に記されたくずし字の解読だけではなく、古文書が作成された時代背景や地域の歴史の解説を盛り込んだ講義を行った結果、受講者からは好評が得られた。			

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため3回中止。

② ものづくり体験学習講座（ワークショップ）

事業目的	幸手の歴史に関連した地域資源を活かすことを目的とし、郷土資料館でものづくり体験講座事業を実施し、幸手の歴史や文化について周知を図る。			
事業内容	期 日 ・ 会 場	内 容	講 師	参加者数
	8月22日（土） 郷土資料館 エントランスホール	藍（生葉）のたたき染め体験	郷土資料館員 学芸員	18人
	12月13日（日） 郷土資料館 講 座 室	藁で作るお正月飾り	坂 斉 武 男	10人
事業成果	市域でかつて行われていた藍染めの文化についての理解を深めることができた。また、米どころ幸手ならではの、藁の文化についての理解を深めることができた。			

③ 第18回市史講座の開催

事業目的	<p>本講座は、市史編さん事業で得られた成果を活かし、幸手の歴史と文化を解説するものである。</p> <p>さらに、幸手固有の歴史と文化に関心を深めた市民が、今後のまちづくりに文化的視点をもって取り組めるよう、情報提供という観点からその後押しをすることも目的としている。</p> <p>第18回目の市史講座では、「中川低地」というテーマで、幸手市域の大半を占める中川低地の成り立ちや、地震などの災害と低地との関係について造詣の深い講師に講義を依頼し、その内容について市民の理解を深めることを目的とした。</p>		
事業内容	期 日 ・ 会 場	内 容	講 師
	1月24日（日） 郷土資料館 講 座 室	中川低地の生い立ち —縄文海進の残した地層と地震 災害の種類—	平 社 定 夫

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

④ 幸手市文化遺産だよりの発行

事業目的	市民に資料保存公開事業の状況や新発見の文化財について周知し、地域の文化遺産について理解を広める。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名 称 『幸手市文化遺産だよりの発行』第18号 ・ 内 容 幸手出身の実業家である熊倉良助が愛娘のためにあつらえたと伝えられている御殿飾り雛の絢爛豪華な雛道具を中心に紹介する。 ・ 発 行 日 令和3年3月1日（月） ・ 発行部数 21,000部（広報折込で全戸配布） ・ 印刷費用 187,110円
事業成果	郷土資料館の収蔵資料や新指定文化財について市民に周知することができた。

(4) 資料調査・整理事業

① 郷土資料館収蔵資料調査事業

事業目的	郷土資料館収蔵資料の保存と活用を図るため、未整理の古文書等の整理と調査を行うとともに、古文書等整理市民ボランティアの養成を目的とし実施する。
事業内容	史料の取扱い等に精通し、歴史学について専門的知識を有する史料専門員と、古文書等整理市民ボランティアとが、郷土資料館で収蔵している古文書等について調査・整理・資料台帳の作成を行うもの。
実施回数	24回
参加者数	延べ55人
事業成果	郷土資料館が収蔵する古文書約1,500点を整理し、今後活用することができるようになった。さらに、市民ボランティアを養成したほか、この事業を通して、市民に生涯学習の場を提供することができた。

◎ 第60回文化祭（令和2年度）

社会教育課

事業目的	日頃の文化活動の成果を発表する機会を設け、市民の文化交流を図る。
主 催	幸手市・幸手市教育委員会
共 催	幸手市公民館
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 公民館開館日数及び利用者数

社会教育課

公 民 館 名	開 館 日 数		利 用 者 数	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
中 央 公 民 館	347日	348日	27,160人	36,057人
勤 労 青 少 年 ホ ー ム	347日	348日	9,985人	16,671人
西 公 民 館	347日	348日	28,283人	37,149人
北 公 民 館	347日	348日	10,430人	31,630人
南 公 民 館	347日	348日	22,742人	38,958人
東 公 民 館	347日	348日	7,669人	17,406人

◎ 公民館主催事業

社会教育課

事業目的	生涯学習活動の拠点として、公民館の利用を促進し、活動の活性化を図るために、講座の開催やクラブ活動の成果を発表するための事業を実施する。			
事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
春の野草研究会 (幸手自然愛護会との共催) 東公民館及び 中川周辺	4月23日(木)	一般	中川周辺の野草を観察し種類や生態について調べ、季節による植生の違いを観察し、自然に対する知識や理解を深める。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
第5回囲碁入門講座 (幸手市囲碁連盟との共催) 中央公民館	5月9日(土)～ 5月30日(土) 全4回	幼稚園から大人まで	囲碁の楽しさや醍醐味を味わうとともに参加者相互の交流により仲間づくりや団体活動の組織化を図る。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
第6回幸手本因坊・子ども本因坊囲碁大会 (幸手市囲碁連盟との共催) 北公民館	8月2日(日)	小・中学生	①本因坊戦 ②段位戦 ③級位戦(1～5級) ④級位戦(6級以下) ⑤子ども本因坊戦(19路盤) ⑥子ども級位戦(13路盤)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
親子ボウリング教室 中央公民館	8月18日(火)	小学生以下の子どもとその保護者 4組9人	プロの指導によりボウリングの楽しさを知るとともに、親子のコミュニケーションを図る。	ボウリングのマナーであるハイタッチを通じ、親子のスキンシップを取りながら楽しむことができた。
初心者ヨガ講座 東公民館	8月25日(火)～ 9月29日(火) 全5回	一般 延べ33人	ヨガのポーズでしなやかな体を作り、また、深い呼吸をすることで、ストレスを改善し健康増進を図る。	受講者の多くがヨガに興味を持って参加し、コミュニケーションを図りながら、楽しくヨガの基礎を学ぶことができた。
初心者ペン習字講座 北公民館	9月10日(木)～ 10月15日(木) 全5回	一般 延べ82人	ペン習字により美しい文字を書くための基本を学ぶ。	漢字の成り立ちや、楷書・行書の違いなどを学びながら、ペン習字の基礎を習得することができた。

◎ 公民館主催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
介護予防体操講座 西公民館	10月6日(火) ～ 10月27日(火) 全4回	一般 延べ63人	ストレッチやバランス感覚、筋力などを向上させる体操を体験し、生活機能の維持向上を図る。	講師と受講者がコミュニケーションを図りながら、無理なく楽しく体を動かすことができた。
エンジョイ！ バドミントン教室 南公民館	10月10日(土) ～ 10月31日(土) 全4回	一般 延べ24人	誰でも気軽にできるバドミントンの基本を学び、楽しさを体験して健康増進の一助となるスポーツの日常化と仲間づくりを行う。	新型コロナウイルスの影響もあってか申込者は少なかったが、その分指導が行き届き、わかりやすく楽しい教室になった。
フランス刺繍講座 中央公民館	10月13日(火) ～ 12月8日(火) 全5回	一般 延べ52人	フランス刺繍の基本的な刺し方を学びながら、オリジナルの作品作りを楽しむと同時に、仲間づくりを図る。	受講者同士の会話を楽しみながら、それぞれの感性で個性豊かな作品を作ることができた。
秋の自然観察会 (幸手自然愛護会との共催) 中央公民館	10月15日(木)	市内在住・ 在勤	自然観察の方法や楽しさを体験し、自然の仕組みを学ぶ。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
健康体操講座 東公民館	10月21日(水) ～ 12月2日(水) 全7回	一般 延べ34人	悪い姿勢からくる体の痛みを改善するために、必要な体操や知識を習得する。	初日に姿勢を確認した後に必要な体操や知識を習得し、最終日に悪い姿勢がどのように改善されたかを知ることができた。
郷土芸能大会 (郷土芸能保存会との共催) 西公民館	10月25日(日)	一般・ 小学生	伝統ある郷土芸能(高須賀大杉ばやし・松石ささら獅子舞)のすばらしさを、大勢の方に向けていただく。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
健康改善！！ ストレッチ体操講座 南公民館	11月5日(木) ～ 11月26日(木) 全4回	一般 延べ35人	新型コロナウイルス感染対策のため自宅で過ごすことが多く、体力低下のリスクが高まったため、自宅で気軽にできるストレッチ体操により健康な身体の維持を図る。	運動不足の日々が続いていた中、講師の丁寧な指導により、参加者からは楽しく過ごせたとの声があり、心身ともに健康な身体づくりができた。

◎ 公民館主催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
はじめての 絵手紙講座 東公民館	11月9日(月) ～ 12月21日(月) 全5回	一般 延べ38人	絵には優しさやぬくもりを込め、言葉には真心を込めて、手作りの絵手紙を作成する。	受講者同士が会話を楽しみながら、それぞれの感性で個性豊かな素晴らしい作品を作ることができた。
クラフトバンド 手芸講座 中央公民館	11月18日(水) ～ 12月16日(水) 全5回	一般 延べ59人	再生紙で出来たカラークラフトバンドを使って、世界でたった一つの作品を作る。	参加者それぞれの感性で作品を作り、達成感や充実感を味わいながら世界で一つだけの作品を作ることができた。
メディカル アロマ講座 西公民館	11月19日(木) ～ 12月17日(木) 全5回	一般 延べ44人	植物の香りで家庭でのケア及び健康維持・増進を図るとともに、アロマテラピーを楽しく学ぶ。	ウイルス対策スプレー作りや保湿クリーム作り等を通して、精油(エッセンシャルオイル)の効果と使い方を学ぶことができた。
ふれあいサロン 西公民館	11月25日(水) 全1回	乳幼児から小学生と保護者等 延べ16人	絵本の読み聞かせや親子遊び、ママトークなどを通して、忙しくしているママたちがゆっくりくつろげる場を提供する。	ママトークは、子育てに対する不安解消や各種情報交換の場となった。楽しく有意義なときを過ごすことができた。
はじめての自 彊術体操講座 西公民館	12月15日(火) ～ 3月30日(火) 全4回	一般 延べ28人	自彊術体操は健康体操及び万病克服の医療体操で、31の動作体操を行うことにより健康増進・体調維持を図る。	全身運動である自彊術の31の動作を習得するとともに、参加者同士のコミュニケーションを図ることができた。
七草がゆを作 って食べる会 (幸手自然愛護会 との共催) 中央公民館	1月7日(木)	市内在住・ 在勤・在学	春の七草にまつわる風習や伝統を学び七草がゆの試食を体験することにより、人と自然とのかかわりを実感する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
マ ッ ト ピ ラ テ ィ ス 講 座 南公民館	1月9日(土) ～ 3月13日(土) 全10回	一般	お腹のインナーマッスルを鍛え身体を動かす。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 公民館主催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
数学基礎講座 東公民館	1月16日(土) ～ 2月13日(土) 全5回	市内中学生 3年生	数学の模擬テスト及び解説による実践的な学習により、3年間の学習の再確認と基礎的な数学の総復習に取り組む。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
バランスボール ボディケア講座 北公民館	1月20日(水) ～ 2月17日(水) 全5回	一般	平衡感覚を身につけ、バランスのとれた筋肉、代謝のいい体作りをし自分の体を自分でメンテナンスする方法を知る。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
東公民館 いきいき大学 東公民館	2月2日(火) ～ 3月9日(火) 全5回	一般	シニア層から高齢者の方々が、日々の生活や地域に関わりの深いテーマを中心とした学習を通して、豊かな知識をさらに高め、安心・安全で健康な生活を送る。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
スマホタブレットでできる ZOOM 体験講座 北公民館	2月21日(日) ～ 2月26日(金) 全2回	一般	スマートフォン等を使用してZOOMを通じたオンラインの手法を習得する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
親子消しゴム はんこ講座 北公民館	2月27日(土)	市内小学生・その保護者	消しゴムはんこを通じて子供の想像力・表現力を育み、家族の触れ合いを深める。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
第39回 公民館まつり (展示の部) 南公民館	3月5日(金) ～ 3月7日(日)	一般	作品の展示等公民館におけるクラブ活動の成果の発表を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
第39回 公民館まつり (発表の部) 北公民館	3月7日(日)	一般	太極拳・ハーモニカ演奏・合唱・マジック等の団体が公民館におけるクラブ活動の成果の発表を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 図書館開館日数等

社会教育課

	令和2年度		令和元年度			
	開館日数	本館	253日	本館	297日	
	香日向分館	251日	香日向分館	299日		
貸出人数	本館	32,605人	本館	57,144人		
	香日向分館	11,295人	香日向分館	24,674人		
貸出冊数	本館	114,186冊	本館	210,087冊		
	香日向分館	29,513冊	香日向分館	51,998冊		
図書購入費	図書	数量	7,845冊	図書	数量	8,095冊
		金額	15,459,578円		金額	15,654,495円
	A V資料	数量	271点	A V資料	数量	356点
		金額	1,607,097円		金額	1,611,028円

◎ 蔵書内容

社会教育課

	令和元年度末蔵書数	令和2年度			令和2年度末蔵書数
		購入	寄贈等	払出	
一般書	118,951冊	5,556冊	130冊	4,634冊	120,003冊
児童書	59,172冊	2,277冊	40冊	652冊	60,837冊
郷土資料	5,608冊	1冊	85冊	0冊	5,694冊
紙芝居	2,356冊	9冊	0冊	5冊	2,360冊
合計	186,087冊	7,843冊	255冊	5,291冊	188,894冊

◎ 図書館協議会

社会教育課

事業目的	図書館の運営や図書館サービスに対する意見・提案をいただき、業務の運営に役立てる。	
事業内容	期日・会場	内容
	11月27日（金） 図書館視聴覚室	（1）令和2年度図書館要覧について （2）令和元年度事業報告について （3）子ども読書推進計画について
	3月25日（木） 図書館視聴覚室	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
事業成果	図書館を円滑に運営し、図書館運営や利用者へのサービス向上を図ることができた。	

◎ 第29回幸手市さくらマラソン大会開催事業

社会教育課

事業目的	生涯スポーツの推進をめざすため、健康ふれあいスポーツ都市 幸手市にふさわしく、誰もがスポーツをとおして豊かな生活を営むこととあわせて心身の健全な育成に寄与することを目的とする。また、さくらのまち幸手市のイメージアップを図る。		
事業内容	期 日・会 場	部 門	参加申込者数
	4月5日(日) 幸手総合公園陸上グラウンド	10マイルコース 3kmコース 2kmコース	3,157人 46人 461人
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。		

◎ ふるさとづくり第65回市民体育大会

社会教育課

事業目的	広く市民にスポーツ・レクリエーションを普及し、市民の健康増進と体力の向上を図るとともに、地域の連帯感を高め、明るく豊かな市民生活の形成と文化の発展を図る。			
主催	幸手市・幸手市教育委員会・幸手市体育協会・幸手市レクリエーション協会			
主管	—			
方法	委託事業 委託料 — 円			
事業内容	第1部(地区大会) 体育協会各支部等が主管団体となり、健康づくりと地域コミュニティの推進を図るため、地区をあげてスポーツ・レクリエーションの祭典として実施する。			
	地区名	期 日	会 場	参加者数
	行幸地区	延期	行幸小学校	—
	八代地区	延期	八代小学校	—
	さくら小地区	延期	さくら小学校	—
	北地区	延期	幸手中学校	—
	上高野地区	延期	上高野小学校	—
	長倉地区	延期	長倉小学校	—
	権現堂川地区	延期	権現堂川小学校	—
	栄地区	延期	さかえ小学校	—
	吉田地区	延期	吉田小学校	—
	香日向地区	延期	旧香日向小学校	—
	中地区	延期	幸手小学校	—
	第 1 部	合 計		—

◎ ふるさとづくり第65回市民体育大会のつづき

社会教育課

事業内容	第2部（種目別大会） 体育協会及びレクリエーション協会加盟団体が主管団体となり、広く市民から参加者を集い、スポーツ・レクリエーションの普及を図る。			
	種目	期日	会場	参加者数
	テニス	延期	総合公園庭球場	—
	柔道	延期	武道館	—
	野球	延期	ひばりヶ丘球場	—
	空手道	延期	市民文化体育館	—
	ゴルフ	延期	フレンドシップカントリークラブ	—
	卓球	延期	市民文化体育館	—
	バレーボール	延期	海洋センターほか	—
	ゲートボール	延期	老人福祉センター	—
	インディアカ	延期	市民文化体育館	—
	剣道	延期	武道館	—
	ソフトボール	延期	神扇グラウンドほか	—
	弓道	延期	武道館	—
	グラウンド・ゴルフ	延期	総合公園陸上グラウンド	—
	ターゲット・バードゴルフ	延期	総合公園さくらふれあい広場	—
	ソフトバレーボール	延期	市民文化体育館	—
	サッカー	延期	総合公園陸上グラウンド	—
	ミニテニス	延期	市民文化体育館	—
	スキー	延期	菅平高原スキー場	—
第2部合計			—	
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期。			

◎ 委託教室開催事業

社会教育課

事業目的	市民のスポーツ・レクリエーション等への参加を促進するため、スポーツ教室を実施し、市民の健康と体力の向上、交流の場及び各種スポーツの推進を図る。				
事業内容	教室名	委託先	対象	期日・会場	参加者数 (延べ)
	ターゲット・バードゴルフ教室	幸手ターゲット・バードゴルフクラブ	一般男女	11月21日(土)～ 11月29日(日) 全5回 総合公園 さくらふれあい広場	19人
	弓道初心者教室	弓道連盟	中学生～ 一般男女	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため 中止。	—
	合 計				19人
事業成果	教室の開催により、市民の健康づくりと、スポーツ・レクリエーション活動の普及、参加者の交流を図ることができた。				

◎ 社会体育関係団体の概要と補助金（一般補助）

社会教育課

事業目的	市内のスポーツ・レクリエーション団体を支援するため補助金を交付することで、スポーツ・レクリエーション活動の普及と市民の健康づくりを推進する。			
交付実績	団体名・会長名	主 な 活 動	会 員 数 等	交 付 額
	幸手市体育協会 会長 宮杉 勝男	<ul style="list-style-type: none"> 「スポーツ幸手」発行 各支部開催の交流事業への補助 各加盟団体開催の交流事業及びスポーツ教室への補助 	9支部 18競技団体 3,324人	1,520,000円
	幸手市スポーツ少年団 本部長 斉藤 一夫	<ul style="list-style-type: none"> 種目別各種大会 会議の開催 各種研修会への参加 	16団 指導者 190人 団 員 253人	400,000円
	幸手市レクリエーション協会 会長 青木 章	<ul style="list-style-type: none"> 普及事業の開催 各加盟団体開催の交流事業及びスポーツ教室への補助 	6競技団体 329人	0円
	幸手市スポーツ推進委員連絡協議会 会長 熊倉 仁一	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修会への参加 各種スポーツ事業の協力 会議の開催 	21人	0円
事業成果	活動団体に補助金を交付することにより、事業運営の充実が図られ、スポーツ・レクリエーション活動の普及や、健康づくりを図ることができた。 幸手市レクリエーション協会及び幸手市スポーツ推進委員連絡協議会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止したことにより、補助金を全額返還した。			

◎ ふれあいスポーツ教室

社会教育課

事業目的	高齢者がスポーツを通して健康づくりを進めるとともに、新たなスポーツ体験を通じて、生きがいづくりや交流の支援を図る。		
対象	市内在住・在勤の60歳以上の方		
参加者数	－		
事業内容	期 日	事 業 内 容	開 催 場 所
	－	ラジオ体操講習会	市民文化体育館 さくらホール
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。		

◎ カヌー体験事業

社会教育課

事業目的	カヌーを通して、技術向上と仲間づくりを進めるとともに、水の楽しさを知り、心身の健全育成及び体力づくりを推進する。また、水に親しみながら、水辺の事故を防ぐための知識と技術を身につける。		
対象	市内在住・在学（小学1年生以上）		
参加者数	－		
事業内容	期 日	事 業 内 容	開 催 場 所
	－	開講式・水辺の安全教室・クリーン活動・カヌー実践	幸手中学校 プー ール
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。		

◎ 学校体育施設開放事業

社会教育課

事業目的	地域住民に身近な学校体育施設を、学校教育に支障のない範囲において開放し、スポーツ・レクリエーション活動の場を提供する。				
事業内容	学 校 名	施 設 名	開放日数	利用者数	主 な 利 用 種 目
	幸 手 小	校 庭	10日	166人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・少年サッカー ・吹矢 ・インディアカ ・ミニテニス
		体 育 館	27日	534人	
		夜間体育館	26日	259人	
	長 倉 小	校 庭	23日	660人	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・ミニテニス ・少年野球 ・バドミントン ・インディアカ
		体 育 館	19日	317人	
		夜間体育館	15日	234人	
	上 高 野 小	校 庭	41日	2,034人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・サッカー ・グラウンドゴルフ ・ソフトボール ・卓球 ・インディアカ ・バスケットボール
		体 育 館	40日	1,073人	
		夜間体育館	51日	880人	
		夜間校庭	66日	1,780人	
	行 幸 小	校 庭	17日	361人	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・少年野球 ・グラウンドゴルフ ・少女バレーボール ・インディアカ
		体 育 館	30日	612人	
		夜間体育館	62日	650人	
	八 代 小	校 庭	13日	304人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・ミニテニス ・卓球
		体 育 館	3日	42人	
		夜間体育館	61日	590人	
	吉 田 小	校 庭	27日	467人	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・少年野球 ・ソフトバレーボール ・バドミントン
		体 育 館	3日	24人	
		夜間体育館	36日	217人	
	さ か え 小	校 庭	6日	140人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年サッカー ・ミニテニス ・インディアカ
		体 育 館	18日	217人	
		夜間体育館	18日	128人	

◎ 学校体育施設開放事業のつづき

社会教育課

	学 校 名	施 設 名	開放日数	利用者数	主 な 利 用 種 目
事業内容	さくら小	校 庭	37日	1,137人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年サッカー ・少年野球 ・ミニテニス ・ミニバスケットボール
		体 育 館	36日	948人	
		夜間体育館	89日	922人	
	権現堂川小	校 庭	35日	280人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・バドミントン
		体 育 館	19日	285人	
		夜間体育館	0日	0人	
	合 計	校 庭	209日	5,549人	令和2年度利用者数 合計 15,261人
		体 育 館	195日	4,052人	
		夜間体育館	358日	3,880人	
		夜間校庭	66日	1,780人	
事業成果	<p>地域の身近なスポーツ施設として、地域住民を中心に利用され、スポーツの普及と地域の交流を図ることができた。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一定期間利用の禁止及び一部規制を行った。</p>				

◎ 体育施設の概要と利用者数

社会教育課

施設名	施設概要	規模	利用者数
武道館	市の武道の拠点施設として、昭和59年に柔道場と剣道場を開設。 平成3年には、弓道場を開設。	(柔道場・剣道場) 鉄骨2階建 敷地面積 1,920 m ² 延べ床面積 1,323 m ² 1F 柔道場 420 m ² 2F 剣道場 406 m ² (弓道場) 鉄骨平屋建 延べ床面積 272 m ² 近的(6人立) 28 m	18,819人
B & G 海洋センター	B & G財団の補助を受け、昭和57年に開設。 昭和60年に譲渡を受ける。	体育館 鉄骨コンクリート建 敷地面積 9,003 m ² 延べ床面積 1,102 m ²	7,971人
ひばりヶ丘球場	ナイター照明を備えた本格的な野球場として、平成4年に開設。	両翼 92 m センター 120 m メインスタンド 1,460人 芝生スタンド 3,000人	12,098人
幸手総合公園	雇用・能力開発機構の補助を受け、勤労者福祉施設として、昭和62年に開設。 平成11年度にグラウンドを改修。	陸上グラウンド 24,000 m ²	6,135人
		庭球場 4,500 m ² 人工芝(全天候型) 6面 (内 夜間照明設備 3面)	12,096人
神扇グラウンド	一般廃棄物最終処分場跡地の有効利用を図るため、平成13年に開設。	敷地面積 19,370 m ² 野球等グラウンド 2面 (バックネット 2面) トイレ 8基 倉庫 5基	5,147人
少年サッカー場	旧権現堂川小学校跡地を再利用し、昭和62年に開設。	敷地面積 8,112 m ² 少年用サッカー場 1面 管理棟 1棟 器具庫 1棟	2,051人
大島新田多目的グラウンド	県有地である大島新田を借用し、杉戸町と共同して多目的グラウンドとして整備した施設。平成12年に開設。	敷地面積 10,800 m ² トイレ1棟 13.98 m ²	717人
市民文化体育館(アスカル幸手)	大規模なスポーツ・文化イベントが開催できる複合施設。平成7年に開設。	鉄骨鉄筋コンクリート造 敷地面積 26,865 m ² 延べ床面積 10,521 m ² メインアリーナ 2,050 m ² さくらホール 1,070 m ²	84,209人

《財産運用の推移について》

◎ 基金（積立基金）

(1) 財政調整基金

財政課

基金の目的	地方財政法第4条の3第1項及び第7条第1項の規定に基づき、年度間における財源の調整を行い、市財政の健全な運営に資することを目的とした基金である。	
運用状況	令和元年度末現在高	608,995,461円
	令和2年4月1日（取崩）	350,000,000円
	令和3年3月24日（利子積立）	4,095円
	令和3年3月25日（取崩）	61,563,000円
	令和3年3月25日（積立）	431,194,000円
	令和2年度末現在高	628,630,556円

(2) 公共施設整備基金

財政課

基金の目的	公共施設の整備にあたり、その整備費用に資することを目的とした基金である。	
運用状況	令和元年度末現在高	53,506,860円
	令和3年3月24日（利子積立）	776円
	令和2年度末現在高	53,507,636円

(3) 減債基金

財政課

基金の目的	市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営に資することを目的とした基金である。	
運用状況	令和元年度末現在高	178,462,982円
	令和2年4月1日（取崩）	100,000,000円
	令和3年3月24日（利子積立）	939,449円
	令和2年度末現在高	79,402,431円

(4) 地域福祉基金

社会福祉課

基金の目的	在宅福祉・ボランティア活動の推進等、地域における保健福祉活動の振興を図ることを目的とした基金である。	
運用状況	令和元年度末現在高	29,234,119円
	令和3年3月24日（利子積立）	1,018,133円
	令和3年3月25日（取崩）	151,000円
	令和2年度末現在高	30,101,252円
	※令和2年度歳入として、151,000円を取り崩した。 取崩しについては、車椅子同乗車輛貸出事業の助成として、社会福祉協議会に支出した。 ※運用益の残額（867,133円）については、令和3年度において、福祉車両購入事業の助成として、社会福祉協議会に支出する予定。	

(5) 学校教育施設整備基金

総務課

基金の目的	学校教育施設の整備資金に充てることを目的とした基金である。	
運用状況	令和元年度末現在高 令和3年3月24日（利子積立） 令和2年度末現在高	3,582,674円 54円 3,582,728円

(6) 子育て応援基金

こども支援課

基金の目的	子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進し、子育て支援のより一層の充実を図ることを目的とした基金である。	
運用状況	令和元年度末現在高 令和3年3月24日（利子積立） 令和2年度末現在高	21,895,121円 335円 21,895,456円

(7) 庁舎建設基金

財政課

基金の目的	幸手市の新庁舎の建設費用に資することを目的とした基金である。	
運用状況	令和元年度末現在高 令和3年3月24日（利子積立） 令和3年3月25日（積立） 令和2年度末現在高	33,228,000円 80,006円 19,906,000円 53,214,006円

(8) 森林環境譲与税基金

政策課

基金の目的	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第27条に規定する森林環境譲与税について、森林整備及びその促進に要する経費の財源に充てることを目的とした基金である。	
運用状況	令和元年度末現在高 令和3年3月24日（利子積立） 令和3年3月25日（積立） 令和2年度末現在高	2,032,000円 28円 4,318,000円 6,350,028円

◎ 基金（定額運用基金）

(1) 土地開発基金

契約管財課

基金の目的	公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地を、予め取得することにより、事業の円滑な執行を図ることを目的とした基金である。	
運用状況	令和元年度末現在高 令和3年3月24日（利子積立） 令和2年度末現在高	26,005,805円 50,485円 26,056,290円

◎ 債 権

(1) 入学準備貸付金債権

総務課（学校教育課）

債 権 の 目 的	高等学校、大学及び専修学校に入学を希望する市民の保護者で、入学準備金の調達が困難な家庭に対して、入学準備金の貸付を行い、等しく教育を受ける機会を与えることを目的とするものである。	
運 用 状 況	令和元年度末現在高	15,298,750円
	令和2年4月 (償還 1件)	10,000円
	令和2年5月 (償還 1件)	250,000円
	令和2年6月 (償還 2件)	20,000円
	令和2年7月 (償還 4件)	145,000円
	令和2年8月 (償還 11件)	215,000円
	令和2年9月 (償還 4件)	165,000円
	令和2年10月 (償還 20件)	1,045,000円
	令和2年11月 (償還 12件)	410,000円
	令和2年12月 (償還 9件)	265,000円
	令和3年1月 (償還 3件)	55,000円
	令和3年2月 (償還 2件)	20,000円
	令和3年3月3日 (貸付 1件)	500,000円
	令和3年3月10日 (貸付 2件)	1,000,000円
	令和3年3月24日 (貸付 2件)	700,000円
	令和3年3月 (償還 19件)	860,000円
	令和3年4月 (償還 7件)	230,000円
	令和3年5月 (償還 3件)	45,000円
	令和2年度末現在高	13,763,750円

(2) 住宅新築資金等貸付金債権

人権推進課

債 権 の 目 的	歴史的、社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域の改善を図るため、住宅の新築若しくは不良住宅の改修、又は住宅の用に供する土地を取得しようとする者に対し、必要な資金の貸付を行い、もって公共の福祉に寄与することを目的とする。	
運 用 状 況	令和元年度末現在高	1,968,785円
	令和2年4月 (償還 1件)	45,364円
	令和2年6月 (償還 1件)	45,364円
	令和2年8月 (償還 1件)	45,364円
	令和2年10月 (償還 1件)	45,364円
	令和2年12月 (償還 1件)	45,364円
	令和3年2月 (償還 1件)	45,538円
	令和2年度末現在高	1,696,427円

(3) 土地開発公社経営健全化無利子貸付金債権

財政課

債 権 の 目 的	市が土地開発公社に対して用地の先行取得を依頼し、その財源を無利子で貸し付けるものである。	
運 用 状 況	令和2年度末現在高	717,860,000円